

令和7年度 へき地・小規模校教育研究発表会の御案内

研究主題

「主体的・協働的に学び、ふるさとへの誇りと愛着をもった人間性豊かな子供の育成」

～児童・生徒一人一人が他者とつながり、地域とともに「生きる力」を伸ばす学校・学級経営と学習指導の深化・充実を目指して～

東京都の多摩・島しょ地域では、地域の特性や小規模校の強みを生かした教育が行われています。

本研究発表会では、こうした実践の成果を共有し、へき地・小規模校における教育の課題と今後の方向性を考えます。



御蔵島村（御蔵島）



八丈町
（乙千代ヶ浜海水浴場・海水プール）

○ 日 時 令和7年 **8月1日（金）**

午後1時30分から午後4時30分まで（受付開始 午後1時）

○ 会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター（小ホール）

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1

研究発表会 次第

1 開会

2 挨拶

3 来賓挨拶

4 研究発表

（1）御蔵島村立御蔵島小学校

「9年間の発達の段階に応じて、自分から進んで努力する児童・生徒の育成
— 言語環境・学習環境の充実を目指して —」

（2）八丈町立三原中学校

「子供の学びの原動力を育む取り組み — 各教科等での探究的な学びの充実 —」

（3）質疑応答

5 講演

演題 「地域や学校の特性、児童生徒一人一人の興味・関心を生かし、学習意欲を高めるとともに『確かな学力』を身に付ける学習指導の展開」

講師 白鷗大学 教授 上野 耕史 氏

6 閉会

参加申込・問合せ先

参 加 申 込：（別紙）令和7年度 へき地・小規模校教育研究発表会 参加申込書を記入の上、以下のメールアドレスまで送付ください。

メールアドレス：tokyo-kyokyo@section.metro.tokyo.jp

〔申込〆切 7月11日（金）〕

※ 区市町村立学校関係者は、当該教育委員会を通じて、
都立学校関係者は、当該校管理職を通じてお申込ください。

参加の可否については、別途、お知らせします。

問 合 せ 先：東京都教育庁指導部指導企画課 電話 03-5000-7064

発表校の概要

○ 御蔵島村立御蔵島小学校

「9年間の発達の段階に応じて、自分から進んで努力する児童・生徒の育成
— 言語環境・学習環境の充実を目指して —」

御蔵島は、三宅島南下に位置する断崖絶壁に囲まれた火山島です。

御蔵島小学校は、中学校との併設校であり、各行事や特別活動を中学校と合同で行っています。目標とする中学生の姿を小学生が身近で学べることは強みです。

本校では、島の子供たちが島外でもさらに力を伸ばすために必要と考える「課題解決」「図書館・新聞活用」「メディアリテラシー」「自己調整学習」を9年間通して系統的に学べる研究に取り組んでいます。

これからも、自ら将来の可能性を広げることができる資質・能力を育むよう、研究を進めていきます。



自己調整学習

スプレッドシートを使った練習計画の作成

○ 八丈町立三原中学校

「子供の学びの原動力を育む取り組み— 各教科等での探究的な学びの充実 —」

八丈町立三原中学校は、伊豆諸島南部に位置する八丈島の坂上地区にある生徒20名の小規模校です。島の自然と地域資源を活用し、探究的な学びを通して「学びの原動力」を育む校内研究を推進しています。

令和6年度には、三原中学校ではパフォーマンス課題の開発、学習空間の再設計、同僚性の強化を三本柱として「学びの原動力」を育む研究を進めました。

研究を通して、生徒の学習への主体性が向上し、以前と比べて授業内外において生徒の自発的に学び合う姿を多く見るようになりました。令和7年度は島の自然と地域資源の活用さらに力を入れ、研究を続けています。



再設計された学習空間の様子

会場案内



< 最寄り駅 >

- 小田急線「参宮橋駅」下車 徒歩約7分
- 地下鉄千代田線「代々木公園駅」下車
(代々木公園方面4番出口) 徒歩約10分
- 京王バス
 - 新宿駅西口(16番)より
代々木5丁目下車すぐ
 - 渋谷駅西口(40番)より
代々木5丁目下車すぐ

主催 東京都教育委員会
東京都へき地教育研究協議会